

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2002-108263

(P2002-108263A)

(43)公開日 平成14年4月10日(2002.4.10)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テームト*(参考)	
G 0 9 G 3/12	3 0 1	G 0 9 G 3/12	3 0 1 J	3 K 0 9 8
3/30	3 0 1	3/30	3 0 1	5 C 0 8 0
H 0 5 B 41/36		H 0 5 B 41/36	Z	

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 5 頁)

(21)出願番号 特願2000-294195(P2000-294195)

(22)出願日 平成12年9月27日(2000.9.27)

(71)出願人 000010087

東陶機器株式会社

福岡県北九州市小倉北区中島2丁目1番1号

(72)発明者 辻丸 祐二

福岡県北九州市小倉北区中島2丁目1番1号 東陶機器株式会社内

Fターム(参考) 3K098 CC25 EE32 EE37

5C080 AA08 BB01 BB05 DD18 FF01

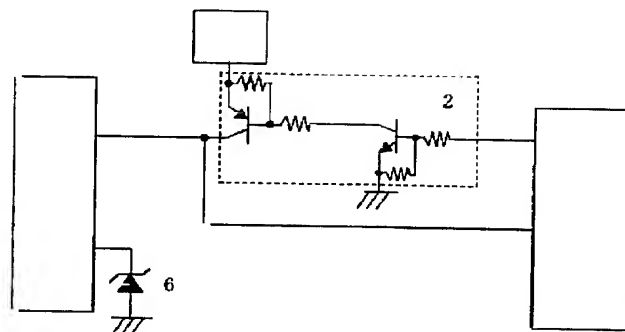
GC02 HH18 JJ02 JJ04 JJ07

(54)【発明の名称】 蛍光表示管駆動装置

(57)【要約】

【課題】蛍光表示管のフィラメントのDCパルス駆動において、素子のバラツキや温度変動、電源電圧変動に関わらず、フィラメントへ供給される実効電圧を常に一定に保つ。

【解決手段】フィラメントへ供給されるパルス幅及び電圧をマイコンへフィードバックし、そのフィードバックされた値より、マイコンから出力されるパルス幅を可変するようにした。



なる値になっているため、マイコン1より出力されるパルス幅が $3.75\mu\text{S}$ であったとしても、実際にフィラメントへ加わっているパルス幅が $3.75\mu\text{S}$ とは限らない。

【0011】ここで、実際にフィラメントへ加わるパルス幅が $5\mu\text{S}$ であったとすると、図4の計算式により実際にフィラメントへ加わる実効電圧は約 2.9Vrms となり、蛍光表示管5のフィラメントの定格電圧を外れてしまう。そこで、マイコン1のROM内にフィラメントへ加わる実効電圧が定格 $2.5\text{V}\pm 0.25\text{Vrms}$ に収まるようなパルス幅の設定範囲を設ける。ここでは電源4の電圧が 9.5V であるため、図4の計算式より実際に印可されるパルス幅が $3\sim 4.4\mu\text{S}$ の範囲にあれば、定格を満足出来るので、前述の値に設定する。フィラメントへ印可されるパルス幅はマイコン1にて検出され、検出されたパルス幅と前述の設定範囲の値と比較し、検出されたパルス幅が $5\mu\text{S}$ であるので（設定された範囲より大きいので）、検出されるパルス幅が前述の設定範囲内に入るようにマイコン1より出力するパルス幅を小さくしていき、検出されるパルス幅が前述の範囲内に入るまでパルス幅を小さくする様に制御する。逆に、検出されたパルス幅が $2\mu\text{S}$ であった場合（設定された範囲より小さかった場合）は、検出されるパルス幅が前述の設定範囲内に入るようにマイコン1より出力されるパルス幅を大きくしていき、検出されるパルス幅が前述の範囲内に入るまでパルス幅を大きくする様に制御する。

【0012】ここでは周波数を 30KHz に設定しているが、一般的に可聴帯域以上と言われている 20KHz 以上であればその周波数に限定するものではない。又、ここで周波数を可変させないのは、実効電圧を下げる場合に周波数を低くし過ぎると、可聴帯域に入る可能性があるためパルス幅のみ可変する様に設定している。さらに、マイコン1にはパルス幅を設定しているが、実効電圧を設定し、マイコン1内にて実効値を演算させて比較しても良いし、実効電圧を比較する場合は、可聴帯域に影響が無い範囲で周波数も合わせて可変しても良い。

【0013】次に本発明の請求項2について、図2を用いて説明する。マイコン1は、駆動回路2へPoutポートより一定周波数（ 30KHz ）でパルス幅 $3.75\mu\text{S}$ のパルスを出し、駆動回路2をスイッチングし、電源4（ 9.5V ）よりDCのパルスを蛍光表示管5のフィラメントへ供給するように接続されており、フィラメントのマイナス端子は 2.0V のツェナーダイオード6を介し、GNDへ接続されている。さらには、フィラメントへ加わるパルスをマイコン1にて検出可能なように接続し、検出された値より、マイコン1から出力するパルスの幅を可変するようにしている。又、蛍光表示管5のフィラメントは定格電圧が規定されており、実施例において使用する蛍光表示管5の定格実効電圧は 2.5V

$\pm 0.25\text{Vrms}$ である。

【0014】マイコン1は予め設定された周波数 30KHz 、パルス幅 $3.75\mu\text{S}$ のパルスを出し、駆動回路2のバラツキや変動要因が加わらなければ、その時フィラメントへ加わるパルスの幅はマイコン1より出力されたパルス幅であり、実効電圧は図4の計算式より約 2.5Vrms になる事が分かる。しかしながら実際は、駆動回路2のバラツキや温度変動、電源電圧変動などによりフィラメントへ実際に加わるパルス幅が変動し、実効電圧は異なる値になっているため、マイコン1より出力されるパルス幅が $3.75\mu\text{S}$ であったとしても、実際にフィラメントへ加わっているパルス幅が $3.75\mu\text{S}$ とは限らず、さらには、電源4も 9.5V 一定ではなく多少変動し、又、駆動回路2での電圧ロスも考慮に入ると、実際にフィラメントに加わる実効電圧はさらに異なってくる。

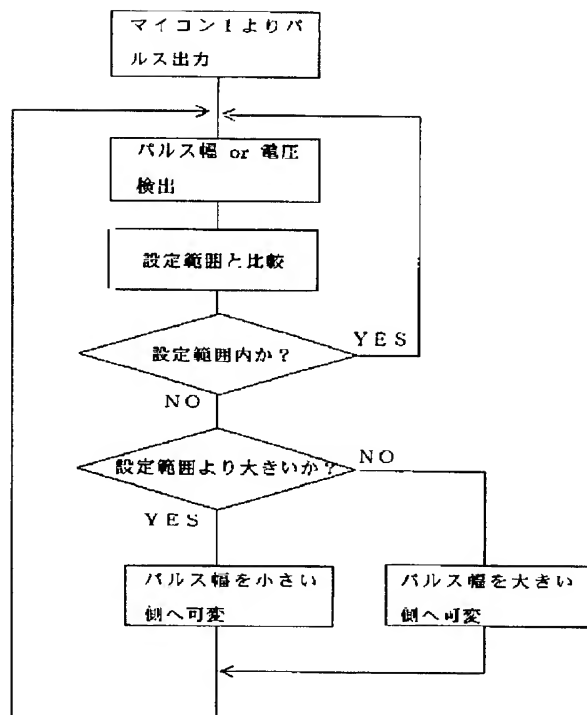
【0015】ここで、実際にフィラメントへ印可されるパルス幅が $2.5\mu\text{S}$ であったとすると、図4の計算式により実際にフィラメントへ印可される実効電圧は約 2.1Vrms となる訳であるが、さらに電源4の電圧が 9.3V 、駆動回路2での電圧ロスが 0.2V であったとすると、実際にフィラメントへ加わる実効電圧はさらに小さくなり、約 1.9Vrms となってフィラメントの定格をさらに大きく外れてしまう。そこで、実際にフィラメントへ印可される実効電圧を検出するために、電圧検出回路を設けて、フィラメントへ印可されるパルス電圧を平滑し、マイコン1にて平滑した電圧を検出するようにする。マイコン1のROM内にはフィラメントへ印可される実効電圧が定格 $2.5\text{V}\pm 0.25\text{Vrms}$ に収まるような電圧値の設定範囲を設けやり、検出された電圧値と設定範囲の値と比較し、検出された電圧値が設定された範囲より小さかった場合、検出されるパルス幅が前述の設定範囲内に入るようにマイコン1より出力するパルス幅を大きくしていき、検出されるパルス幅が予め設定されている範囲内に入るまでパルス幅を大きくする様に制御する。逆に、検出されたパルス幅が設定された範囲より大きかった場合、検出されるパルス幅が前述の設定範囲内に入るようにマイコン1より出力されるパルス幅を小さくしていき、検出されるパルス幅が予め設定されている範囲内に入るまでパルス幅を小さくする様に制御する。電圧値の設定範囲については、用いる電源4の変動範囲、及び駆動回路2電圧ロスによって異なるため、それに応じて図4の計算式を用いて設定してやれば良い。

【0016】ここでは周波数を 30KHz に設定しているが、一般的に可聴帯域以上と言われている 20KHz 以上であればその周波数に限定するものではない。

【0017】

【発明の効果】本発明は上記構成により次の効果を発揮する。フィラメントへ加わるパルス及び電圧をマイコン

【図5】



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-108263

(P2002-108263A)

(43) 公開日 平成14年4月10日 (2002.4.10)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	サーチワード* (参考)	
G 0 9 G 3/12	3 0 1	G 0 9 G 3/12	3 0 1 J	3 K 0 9 8
3/30	3 0 1	3/30	3 0 1	5 C 0 8 0
H 0 5 B 41/36		H 0 5 B 41/36		Z

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願2000-294195 (P2000-294195)

(22) 出願日 平成12年9月27日 (2000.9.27)

(71) 出願人 000010087

東陶機器株式会社

福岡県北九州市小倉北区中島2丁目1番1号

(72) 発明者 辻丸 祐二

福岡県北九州市小倉北区中島2丁目1番1号 東陶機器株式会社内

Fターム(参考) 3K098 CC25 EE32 EE37

5C080 AA08 BB01 BB05 DD18 FF01

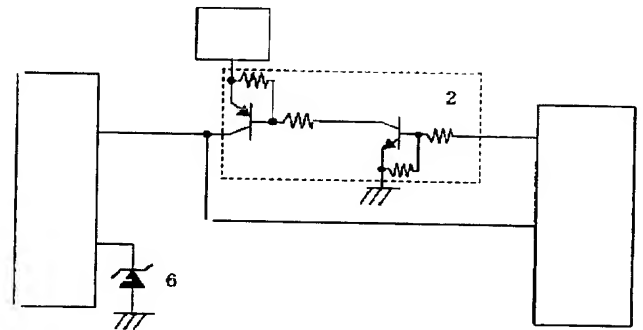
GC02 HH18 JJ02 JJ04 JJ07

(54) 【発明の名称】 蛍光表示管駆動装置

(57) 【要約】

【課題】 蛍光表示管のフィラメントのDCパルス駆動において、素子のバラツキや温度変動、電源電圧変動に関わらず、フィラメントへ供給される実効電圧を常に一定に保つ。

【解決手段】 フィラメントへ供給されるパルス幅及び電圧をマイコンへフィードバックし、そのフィードバックされた値より、マイコンから出力されるパルス幅を可変するようにした。



なる値になっているため、マイコン1より出力されるパルス幅が3.75 μ Sであったとしても、実際にフィラメントへ加わっているパルス幅が3.75 μ Sとは限らない。

【0011】ここで、実際にフィラメントへ加わるパルス幅が5 μ Sであったとすると、図4の計算式により実際にフィラメントへ加わる実効電圧は約2.9Vrmsとなり、蛍光表示管5のフィラメントの定格電圧を外れてしまう。そこで、マイコン1のROM内にフィラメントへ加わる実効電圧が定格2.5V \pm 0.25Vrmsに収まるようなパルス幅の設定範囲を設ける。ここでは電源4の電圧が9.5Vであるため、図4の計算式より実際に印可されるパルス幅が3~4.4 μ Sの範囲にあれば、定格を満足出来るので、前述の値に設定する。フィラメントへ印可されるパルス幅はマイコン1にて検出され、検出されたパルス幅と前述の設定範囲の値と比較し、検出されたパルス幅が5 μ Sであるので（設定された範囲より大きいので）、検出されるパルス幅が前述の設定範囲内に入るようにマイコン1より出力するパルス幅を小さくしていき、検出されるパルス幅が前述の範囲内に入るまでパルス幅を小さくする様に制御する。逆に、検出されたパルス幅が2 μ Sであった場合（設定された範囲より小さかった場合）は、検出されるパルス幅が前述の設定範囲内に入るようにマイコン1より出力されるパルス幅を大きくしていき、検出されるパルス幅が前述の範囲内に入るまでパルス幅を大きくする様に制御する。

【0012】ここでは周波数を30KHzに設定しているが、一般的に可聴帯域以上と言われている20KHz以上であればその周波数に限定するものではない。又、ここで周波数を可変させないのは、実効電圧を下げる場合に周波数を低くし過ぎると、可聴帯域に入る可能性があるためパルス幅のみ可変する様に設定している。さらに、マイコン1にはパルス幅を設定しているが、実効電圧を設定し、マイコン1内にて実効値を演算させて比較しても良いし、実効電圧を比較する場合は、可聴帯域に影響が無い範囲で周波数も合わせて可変しても良い。

【0013】次に本発明の請求項2について、図2を用いて説明する。マイコン1は、駆動回路2へPoutポートより一定周波数（30KHz）でパルス幅3.75 μ Sのパルスを出し、駆動回路2をスイッチングし、電源4（9.5V）よりDCのパルスを蛍光表示管5のフィラメントへ供給するように接続されており、フィラメントのマイナス端子は2.0Vのツェナーダイオード6を介し、GNDへ接続されている。さらには、フィラメントへ加わるパルスをマイコン1にて検出可能なように接続し、検出された値より、マイコン1から出力するパルスの幅を可変するようにしている。又、蛍光表示管5のフィラメントは定格電圧が規定されており、実施例において使用する蛍光表示管5の定格実効電圧は2.5V

\pm 0.25Vrmsである。

【0014】マイコン1は予め設定された周波数30KHz、パルス幅3.75 μ Sのパルスを出し、駆動回路2のバラツキや変動要因が加わらなければ、その時フィラメントへ加わるパルスの幅はマイコン1より出力されたパルス幅であり、実効電圧は図4の計算式より約2.5Vrmsになる事が分かる。しかしながら実際は、駆動回路2のバラツキや温度変動、電源電圧変動などによりフィラメントへ実際に加わるパルス幅が変動し、実効電圧は異なる値になっているため、マイコン1より出力されるパルス幅が3.75 μ Sであったとしても、実際にフィラメントへ加わっているパルス幅が3.75 μ Sとは限らず、さらには、電源4も9.5V一定ではなく多少変動し、又、駆動回路2での電圧ロスも考慮に入ると、実際にフィラメントに加わる実効電圧はさらに異なってくる。

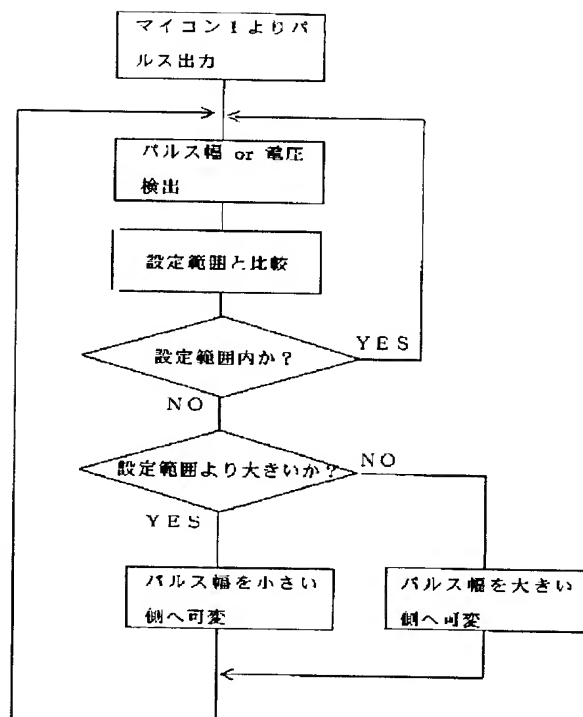
【0015】ここで、実際にフィラメントへ印可されるパルス幅が2.5 μ Sであったとすると、図4の計算式により実際にフィラメントへ印可される実効電圧は約2.1Vrmsとなる訳であるが、さらに電源4の電圧が9.3V、駆動回路2での電圧ロスが0.2Vであったとすると、実際にフィラメントへ加わる実効電圧はさらに小さくなり、約1.9Vrmsとなってフィラメントの定格をさらに大きく外れてしまう。そこで、実際にフィラメントへ印可される実効電圧を検出するために、電圧検出回路を設けて、フィラメントへ印可されるパルス電圧を平滑し、マイコン1にて平滑した電圧を検出するようにする。マイコン1のROM内にはフィラメントへ印可される実効電圧が定格2.5V \pm 0.25Vrmsに収まるような電圧値の設定範囲を設けやり、検出された電圧値と設定範囲の値と比較し、検出された電圧値が設定された範囲より小さかった場合、検出されるパルス幅が前述の設定範囲内に入るようにマイコン1より出力するパルス幅を大きくしていき、検出されるパルス幅が予め設定されている範囲内に入るまでパルス幅を大きくする様に制御する。逆に、検出されたパルス幅が設定された範囲より大きかった場合、検出されるパルス幅が前述の設定範囲内に入るようにマイコン1より出力されるパルス幅を小さくしていき、検出されるパルス幅が予め設定されている範囲内に入るまでパルス幅を小さくする様に制御する。電圧値の設定範囲については、用いる電源4の変動範囲、及び駆動回路2電圧ロスによって異なるため、それに応じて図4の計算式を用いて設定してやれば良い。

【0016】ここでは周波数を30KHzに設定しているが、一般的に可聴帯域以上と言われている20KHz以上であればその周波数に限定するものではない。

【0017】

【発明の効果】本発明は上記構成により次の効果を発揮する。フィラメントへ加わるパルス及び電圧をマイコン

【図5】



PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-108263
(43)Date of publication of application : 10.04.2002

(51)Int.Cl.

G09G 3/12
G09G 3/30
H05B 41/36

(21)Application number : 2000-294195
(22)Date of filing : 27.09.2000

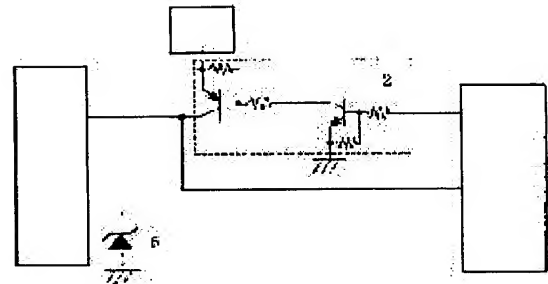
(71)Applicant : TOTO LTD
(72)Inventor : TSUJIMARU YUJI

(54) VACUUM FLUORESCENT DISPLAY DRIVING DEVICE

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To always keep effective voltage to be supplied to a filament constant irrespective of unevenness of elements, temperature changes and variations in power supply voltage in DC pulse driving of the filament of a vacuum fluorescent display.

SOLUTION: The pulse width and voltage to be supplied to the filament is fed back to a microcomputer, and the width of the pulses outputted from the microcomputer is varied by the fed-back value.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]
[Date of sending the examiner's decision of rejection]
[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]
[Date of final disposal for application]
[Patent number]
[Date of registration]
[Number of appeal against examiner's decision of rejection]
[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]
[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

* NOTICES *

JPO and NCIP are not responsible for any damages caused by the use of this translation.

- 1.This document has been translated by computer. So the translation may not reflect the original precisely.
- 2.*** shows the word which can not be translated.
- 3.In the drawings, any words are not translated.

CLAIMS

[Claim(s)]

[Claim 1] It is the fluorescent-display driving gear which has the fluorescent display which the seal of approval of the electrical potential difference is carried out [fluorescent display] to a filament, and displays it on it, the pulse driving means which carries out the pulse control of said seal-of-approval electrical potential difference, the control means which carries out the seal of approval of the pulse to said pulse driving means, and a detection means detect the pulse width of the pulse voltage by which a seal of approval is carried out to said filament, and was characterized by for said control means to carry out adjustable [of the pulse width of said pulse] based on the pulse width detected from said detection means.

[Claim 2] It is the fluorescent-display driving gear which has the fluorescent display which the seal of approval of the electrical potential difference is carried out [fluorescent display] to a filament, and displays it on it, the pulse driving means which carries out the pulse control of said seal-of-approval electrical potential difference, the control means which carries out the seal of approval of the pulse to said pulse driving means, and a detection means to detect said pulse seal-of-approval electrical potential difference, and was characterized by said control means carrying out adjustable [of the pulse width of said pulse] based on the electrical potential difference detected from said detection means.

[Translation done.]

* NOTICES *

JPO and NCIPJ are not responsible for any damages caused by the use of this translation.

- 1.This document has been translated by computer. So the translation may not reflect the original precisely.
- 2.*** shows the word which can not be translated.
- 3.In the drawings, any words are not translated.

DETAILED DESCRIPTION

[Detailed Description of the Invention]

[0001]

[Field of the Invention] This invention relates to the filament driving gear of a suitable fluorescent display to supply fixed effective voltage to especially a filament about DC pulse actuation of the filament of a fluorescent display.

[0002]

[Description of the Prior Art] When driving the filament of a fluorescent display by the pulse of DC conventionally, fixed pulse width was always outputted from the microcomputer, and effective voltage was supplied to the filament.

[0003]

[Problem(s) to be Solved by the Invention] However, in the conventional actuation circuit, the microcomputer always outputted fixed pulse width and supplied effective voltage to the filament. However, have a means to amend effective voltage so that it may go into rated voltage, twist, and there was no effective voltage which has joined the filament actually, even if the effective voltage supplied to a filament by the fluctuation factor separated from the rated voltage of a filament, since it changed by line voltage variation further, the responsibility and variation of the component to drive, temperature fluctuation. Consequently, the display of a fluorescent display became dark, the filament carried out red, and the life of a fluorescent display was short.

[0004] It is what was made in order that this invention might solve the above-mentioned technical problem. The object of this invention Responsibility and variation of a component which are driven in DC pulse actuation of the filament of a fluorescent display, Temperature fluctuation and even when there is line voltage variation further, it is in supplying always fixed effective voltage to a filament. It is in a microcomputer detecting the pulse width and the electrical potential difference which are supplied to especially a filament, carrying out adjustable [of the pulse width outputted from a microcomputer], and always making regularly effective voltage supplied to a filament.

[0005]

[Means for Solving the Problem] In order to attain the above-mentioned object, by carrying out adjustable [of the pulse width of the pulse which can detect the pulse width of the electrical-potential-difference pulse by which a seal of approval is carried out to a filament in a control means, makes to it, and is outputted to it from a control means based on the detected pulse width], claim 1 cannot be concerned with the responsibility or variation of a driver element, and temperature fluctuation, but can always supply fixed effective voltage to the filament of a fluorescent display.

[0006] By carrying out adjustable [of the pulse width of the pulse which can detect the electrical potential difference by which a seal of approval is carried out to a filament in a control means, makes to it, and is outputted to it from a control means based on the detected electrical-potential-difference value], claim 2 cannot be concerned with the responsibility or variation of a driver element, temperature fluctuation, and line voltage variation, but can always supply fixed effective voltage to the filament of a fluorescent display.

[0007]

[Embodiment of the Invention] An example is used for below and the content of this invention is explained to it.

[0008] Drawing 1 is drawing of this invention claim 1, drawing 2 is drawing of this invention claim 2, drawing 3 is the timing diagram of the pulse outputted from a microcomputer, and the pulse which joins a filament, in case T of drawing 3 carries out pulse actuation of the filament, it is the period of the pulse by which a seal of approval is carried out to a filament, ton is the pulse width of the pulse by which a seal of approval is carried out to a filament, and V is an electrical potential difference by which a seal of approval is carried out to a filament. Drawing 4 $R > 4$ is the formula of effective voltage, and can calculate effective voltage with the above-mentioned value. Drawing 5 is the flow chart of the example of this invention, and shows the flows of control of an example. First of all, the example of this invention claim 1 is explained using drawing 1 and drawing 5.

[0009] A microcomputer 1 outputs the pulse of pulse width [of 3.75micro] S to the actuation circuit 2 by constant frequency (30kHz) from a Pout port, switches the actuation circuit 2, it is connected so that the pulse of DC may be supplied to the filament of a fluorescent display 5 from a power source 4 (9.5V), and the minus terminal of a filament is connected to GND through the zener diode 6 of 2.0V. Furthermore, it connects so that a microcomputer 1 can detect the pulse which joins a filament, and it is made to carry out adjustable [of the width of face of the pulse outputted from a microcomputer 1] from the detected value. Moreover, the rated effective voltage of the fluorescent display 5 which rated voltage is specified and uses the filament of a fluorescent display 5 in an example is $2.5V \times 0.25V_{rms}$.

[0010] If a microcomputer 1 outputs the pulse of the frequency of 30kHz set up beforehand, and pulse width [of 3.75micro] S and the variation or the fluctuation factor of the actuation circuit 2 are not added, the width of face of the pulse which joins a filament then is the pulse width outputted from the microcomputer 1, and it turns out that effective voltage is set to about 2.5 V_{rms} (es) from the formula of drawing 4. However, since the pulse width which joins a filament actually by the variation in the actuation circuit 2, temperature fluctuation, etc. is changed in practice and effective voltage has become a different value, even if the pulse width outputted from a microcomputer 1 is 3.75microS, the pulse width which has joined the filament actually is not necessarily 3.75microS.

[0011] Here, supposing the pulse width which joins a filament actually is 5microS, the effective voltage which joins a filament actually by the formula of drawing 4 will be set to about 2.9 V_{rms} (es), and will separate from the rated voltage of the filament of a fluorescent display 5. Then, a setting range of pulse width where the effective voltage which joins a filament is settled in ROM of a microcomputer 1 at rated $2.5V \times 0.25V_{rms}$ is prepared. Here, since the electrical potential difference of a power source 4 is 9.5V and rating can be satisfied if the pulse width by which a seal of approval is more nearly actually than the formula of drawing

4 carried out is in the range which is 3-4.4microS, it is set as the above-mentioned value. Since the pulse width which was detected and was detected with the microcomputer 1 as compared with the detected pulse width and the value of the above-mentioned setting range is 5microS, the pulse width by which a seal of approval is carried out to a filament controls to make pulse width small until it makes small pulse width outputted from a microcomputer 1 and the pulse width detected enters within the limits of the above-mentioned, as the pulse width detected (since it is larger than the set-up range) enters in the above-mentioned setting range. On the contrary, when the detected pulse width is 2microS, it controls to enlarge pulse width until it enlarges pulse width outputted from a microcomputer 1 and the pulse width detected enters within the limits of the above-mentioned, as the pulse width detected (when smaller than the set-up range) enters in the above-mentioned setting range.

[0012] Although the frequency is set as 30kHz here, if it is 20kHz or more generally called more than audible band, it will not limit to the frequency. Moreover, if a frequency is made low too much when lowering effective voltage, since it may go into an audible band, not carrying out adjustable [of the frequency] here will have set up so that it may carry out adjustable [only of the pulse width]. Furthermore, although pulse width is set to a microcomputer 1, effective voltage is set up, within a microcomputer 1, actual value may be made to calculate and you may compare, and when comparing effective voltage, you may double and carry out adjustable [of the frequency] to an audible band in the uninfluential range.

[0013] Next, claim 2 of this invention is explained using drawing 2. A microcomputer 1 outputs the pulse of pulse width [of 3.75micro] S to the actuation circuit 2 by constant frequency (30kHz) from a Pout port, switches the actuation circuit 2, it is connected so that the pulse of DC may be supplied to the filament of a fluorescent display 5 from a power source 4 (9.5V), and the minus terminal of a filament is connected to GND through the zener diode 6 of 2.0V. Furthermore, it connects so that a microcomputer 1 can detect the pulse which joins a filament, and it is made to carry out adjustable [of the width of face of the pulse outputted from a microcomputer 1] from the detected value. Moreover, the rated effective voltage of the fluorescent display 5 which rated voltage is specified and uses the filament of a fluorescent display 5 in an example is $2.5V \times 0.25V_{rms}$.

[0014] If a microcomputer 1 outputs the pulse of the frequency of 30kHz set up beforehand, and pulse width [of 3.75micro] S and the variation or the fluctuation factor of the actuation circuit 2 are not added, the width of face of the pulse which joins a filament then is the pulse width outputted from the microcomputer 1, and it turns out that effective voltage is set to about 2.5 Vrms(es) from the formula of drawing 4. However, since the pulse width which joins a filament actually by the variation in the actuation circuit 2, temperature fluctuation, line voltage variation, etc. is changed in practice and effective voltage has become a different value, Even if the pulse width outputted from a microcomputer 1 is 3.75microS, the pulse width which has joined the filament actually does not restrict with 3.75microS. Further If a power source 4 is not 9.5V regularity, either, and it changes somewhat and the electrical-potential-difference loss in the actuation circuit 2 is also taken into consideration, the effective voltage which joins a filament actually differs further.

[0015] Although the effective voltage in which a seal of approval is actually carried out by the formula of drawing 4 to a filament is a translation used as about 2.1 Vrms(es) supposing the pulse width by which a seal of approval is carried out actually to a filament is 2.5microS here, further, the electrical-potential-difference loss in 9.3V and the actuation circuit 2 will become still smaller [the effective voltage which will join a filament actually supposing it is 0.2V], will be set to about 1.9 Vrms(es), and the electrical potential difference of a power source 4 will separate from rating of a filament still more greatly. Then, in order to detect actually the effective voltage by which a seal of approval is carried out to a filament, the electrical potential difference which prepared the electrical-potential-difference detector, carried out smoothness of the pulse voltage by which a seal of approval is carried out to a filament, and carried out smoothness with the microcomputer 1 is detected. In ROM of a microcomputer 1, prepare a setting range of an electrical-potential-difference value where the effective voltage by which a seal of approval is carried out is settled in rated $2.5V \times 0.25V_{rms}$ to a filament, and it does. When smaller as compared with the detected electrical-potential-difference value and the value of a setting range than the range where the detected electrical-potential-difference value was set up, It controls to enlarge pulse width until it enters within limits to which pulse width outputted from a microcomputer 1 is greatly carried out, and the pulse width detected is set beforehand so that the pulse width detected may enter in the above-mentioned setting range. On the contrary, it controls to make pulse width small until it enters within limits to which pulse width outputted from a microcomputer 1 is small carried out, and the pulse width detected is set beforehand so that the pulse width detected may enter in the above-mentioned setting range, when larger than the range where the detected pulse width was set up. What is necessary is just to set up about the setting range of an electrical-potential-difference value, using the formula of drawing 4 according to it, since it changes with the fluctuation range of the power source 4 to be used, and actuation circuit 2 electrical-potential-difference losses.

[0016] Although the frequency is set as 30kHz here, if it is 20kHz or more generally called more than audible band, it will not limit to the frequency.

[0017]

[Effect of the Invention] This invention demonstrates the following effectiveness by the above-mentioned configuration. A microcomputer detects the pulse and electrical potential difference which join a filament, since it carries out adjustable [of the pulse width outputted from a microcomputer], it cannot be concerned with the responsibility or variation of a driver element, temperature fluctuation, and line voltage variation, but proper effective voltage can be supplied to a filament.

[Translation done.]

* NOTICES *

JPO and NCIP are not responsible for any damages caused by the use of this translation.

- 1.This document has been translated by computer. So the translation may not reflect the original precisely.
- 2.*** shows the word which can not be translated.
- 3.In the drawings, any words are not translated.

DESCRIPTION OF DRAWINGS

[Brief Description of the Drawings]

[Drawing 1] The circuit block diagram of a microcomputer and a fluorescent display in this invention

[Drawing 2] The microcomputer and fluorescent display in this invention, and the circuit block diagram of electrical-potential-difference detection

[Drawing 3] Related drawing with the period of the output pulse of the microcomputer in this invention, and the pulse which joins a filament

[Drawing 4] The formula of the effective voltage of an output pulse

[Drawing 5] It is the flow chart of the example in this invention.

[Description of Notations]

- 1: Microcomputer
 - 2: Filament actuation circuit
 - 3: Electrical-potential-difference detector
 - 4: DC power supply
 - 5: Fluorescent display
 - 6: Zener diode
-

[Translation done.]
